

## 議 会 報 告 会 報 告 書

意見交換会＋平成28年3月定例会における議会報告会（総務文教委員会）				
開催日時	平成28年5月13日（金） 午後7時から午後9時			
開催場所	市役所3階 会議室			
出席委員	藤田貴裕	遠藤直弘	石塚陽一	稗田美菜子
	渡辺大祐	高原幸雄	中川喜美代	重松朋宏
	代 表 者	藤田	冒頭の報告	藤田
テーマの報告	渡辺	記 録 者	渡辺	
参加人数	8名			
報告内容	<p><b>【意見交換会の概要主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少という問題を受けて、“街の維持をどのようにしていくか”が課題となるのではないか。一つの解として、“皆が稼げる”ような仕組みづくりが考えられるのではないか。そのために、用地規制を見直し、自由な経済活動の促進をすべき。</li> <li>・震災等の発生を鑑み、平和な状況が続かなければ、子育て・子育ても続かないと思う。</li> <li>・希望出生率などの数字を見て思うことは、“働きながら子育てをする”ための仕組みづくりのあり方が問われているのではないか。</li> <li>・立川、府中、国分寺などの近隣市と比較し、市内には産業（特に就職先）が少なすぎるのではないか。企業誘致を促進することにより、仕事の創出や確保のみならず、法人税の増収や、生活費の他市への流出防止などの効用が考えられるのではないか。</li> <li>・出生率の向上よりもむしろ、国立市への転入者増につながるようなまちづくりを目指すべき。他市でも行われているような、駅前開発などを模倣しているだけでは差別化は図れない。国立の魅力を発信し、若い人にとって住みやすい街を目指すべき。</li> <li>・若者を増やしていく施策が必要。緑の多さ、個性ある個人商店など“国立らしさ”を発信し、他市との差別化を図っていくことが必要。</li> <li>・人口減少という現象にはもはや抗えない。であれば、他市との人口獲得競争（特に子供・若者・子育て世代など）は自治体同士の疲弊を招くことになる。ふるさと納税のような手段ではなく、国立らしさというソフトなリソースを活かすことで地域の魅力を発信していくべき。</li> <li>・国立で気になるのは、家賃が高いこと。特にURの家賃が高すぎる。家賃などの固定費にお金がかかる状況では、子育てどころではない。出生率が上がらない要因のひとつではないだろうか。</li> </ul> <p><b>【意見交換会の集約】</b></p> <p>若者にとって住みやすい街を目指すべき。</p> <p>i) 国立らしさを活かし発信 →他市並みの開発や都市間競争に身を投じるのではなく、緑など環境の豊かさや個性的な個人商店などの魅力を発信して差別化を図っていくべき。</p> <p>ii) 子育てや住環境の整備 →働きながら子育てができる仕組みの整備と、家賃緩和策の検討ができないか。</p> <p>iii) 商業振興と産業の強化 →企業誘致により産業を強化し、市内の就職先を増やす。 用地規制の見直しなどを通じた個人事業の促進。</p>			

国立市議会議長

広聴委員会委員長 様

平成28年 6月 3日

（報告者）総務文教委員 渡辺 大祐

## 議 会 報 告 会 報 告 書

意見交換会＋平成28年3月定例会における議会報告会（総務文教委員会）				
開催日時	平成28年5月14日（土） 午後2時から午後4時			
開催場所	南区公会堂			
出席委員	藤田貴裕	稗田美菜子	渡辺大祐	高原幸雄
	中川喜美代	重松朋宏		
	代 表 者	藤田	冒頭の報告	藤田
テーマの報告	渡辺	記 録 者	渡辺	
参加人数	3名			
報告内容	<p><b>【意見交換会の概要・主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口は増やしようがないのではないか。そもそも、“人口増加”策は本当に幸せなことなのだろうか。人口獲得のための都市間競争は必至。それによる疲弊は避けられない。人口規模に応じた施策を選択していくべき。（特に議員定数）国立には個性があるのだから、転入者増を狙うための他市民への優遇策より、現在の市内在住者の幸福を追求する施策を打つべき。そうすれば、国立市内在住者の幸福度が上がり、国立ブランド向上に寄与し、結果的に市外からの転入者増につながるのでは。</li> <li>・“人が生まれてから死ぬまでどこで生きるか”を自分で選択できる仕組みづくりが必要ではないか。国立には資源がたくさんあるにもかかわらず、それぞれが単独でしか機能していないように感じる。すでにある資源と資源を組み合わせることで、価値向上を図ることはできないだろうか。</li> </ul> <p><b>【意見交換会の集約】</b></p> <p>人口を増やすことが本当に幸せなのか？という視点          →規模に応じた配分を決めていくという考え方もあって良いのではないか。          国立には個性や資源がたくさんある。しかし、それぞれが単独で機能していることは勿体なく感じる。要素と要素を掛け合わせて新たに生まれる価値を追求することも、ひとつの施策となるのではないか？</p>			

国立市議会議長  
 広聴委員会委員長 様

平成28年 6月 3日

（報告者）総務文教委員 渡辺 大祐